

ほけんだより

子ども健康部 幼児課
令和6年7月号外

7月15日～7月21日は**子どもの事故防止週間**です

窒息や溺水などの不慮の事故によって、14歳以下の子どもが毎年200人ほど亡くなっています。

子ども家庭庁において「子どもの事故防止に関する関係府省庁連絡会議」の取り組みとして、「子どもの事故防止週間」が実施されます。みなさんも事故防止に取り組んでいきましょう。

令和6年度のテーマは、「みんなで見守り👁️👁️「子どもの熱中症」を防ぎましょう」です。

日差しや地面からの熱にご注意

子どもは背が低く、ベビーカーの利用でも、大人よりも地面に近い環境にいます。

暑さ指数などの熱中症予防のための情報を活用しましょう。

子どもが高温の環境下にいることを気かけましょう。



子どもの異変にご注意

子どもは遊びに夢中になると熱中症のサインに気づくのが遅れる場合があります。

無理をせず、適度に休憩をとらせましょう。

水分や塩分の補給、通気性のよい服装や帽子の着用を勧めましょう。

子どもの様子に気遣いを

子どもは暑さや体の不調を言葉で訴えることや、自分で暑さの調整をすることができない場合があります。

汗のかき方、体温、顔色や泣き方等を気かけましょう。

声をかけ、状況を確かめましょう。



車内の置き去りは絶対やめましょう

小さな子どもは危険回避行動をとることができません。

「寝ているから」「ちょっとだけの時間だから」と放置するのは大変危険です。

置き去りを見かけたら通報しましょう。